

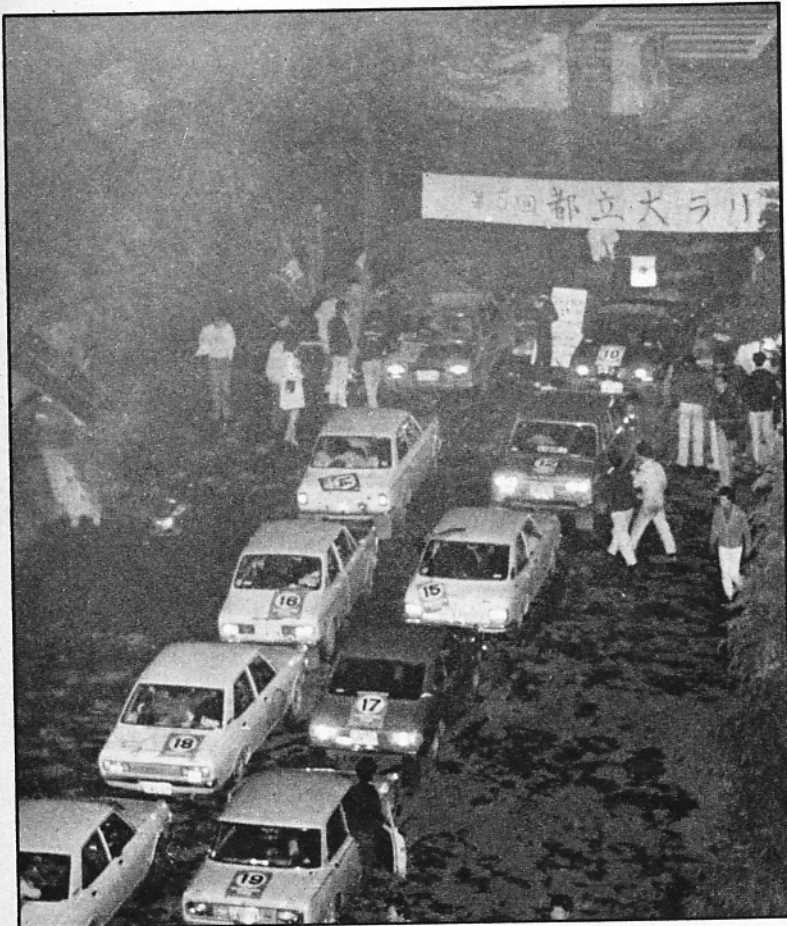
本誌トロフィ贈呈

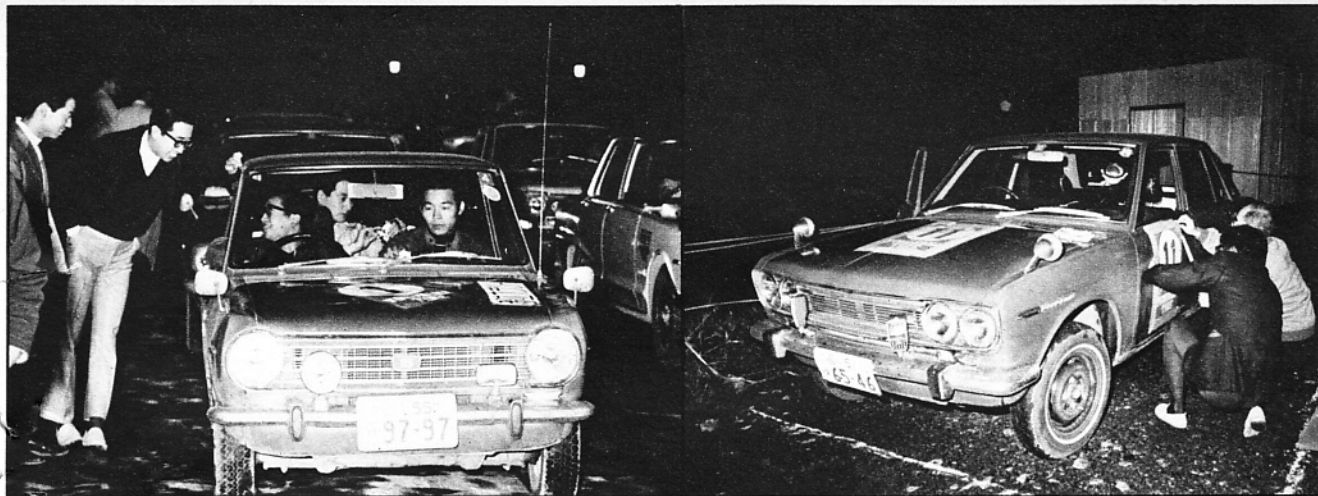
第5回都立大ラリー

第5回 都立大ラリー

スタートを待つ車の列

昨年までのデイラリーをナイトラリーにかえて第五回目の都立大ラリーが去る十一月六日・七日に行なわれた。参加台数は一般部門九十七台、学生部門二十六台の合計一二三台。出場車は完璧なラリーパージョンの車をはじめ、ノーマル車、軽乗用車など多種多様。学生ラリーらしく、37年型ダットサンも参加してドライバーの目をひいた。かなり程度の高い問題が多く、ナビゲーション能力と計算力が要求されたが、東京農工大の桜チームが減点7の好成績で学生部門と総合優勝を獲得。一般部門はチームナゴシが減点11で優勝を果たした。

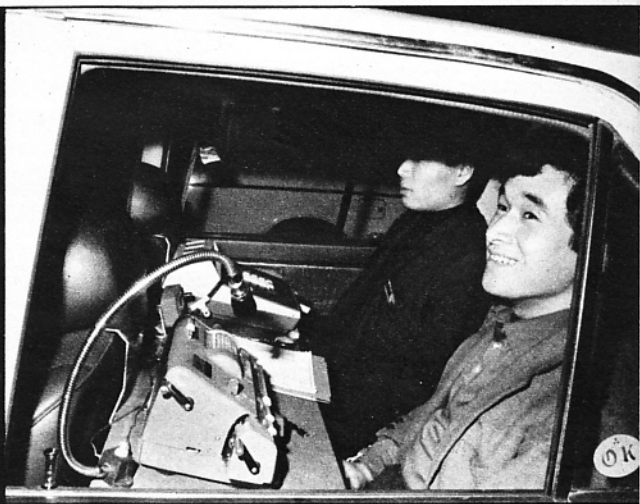




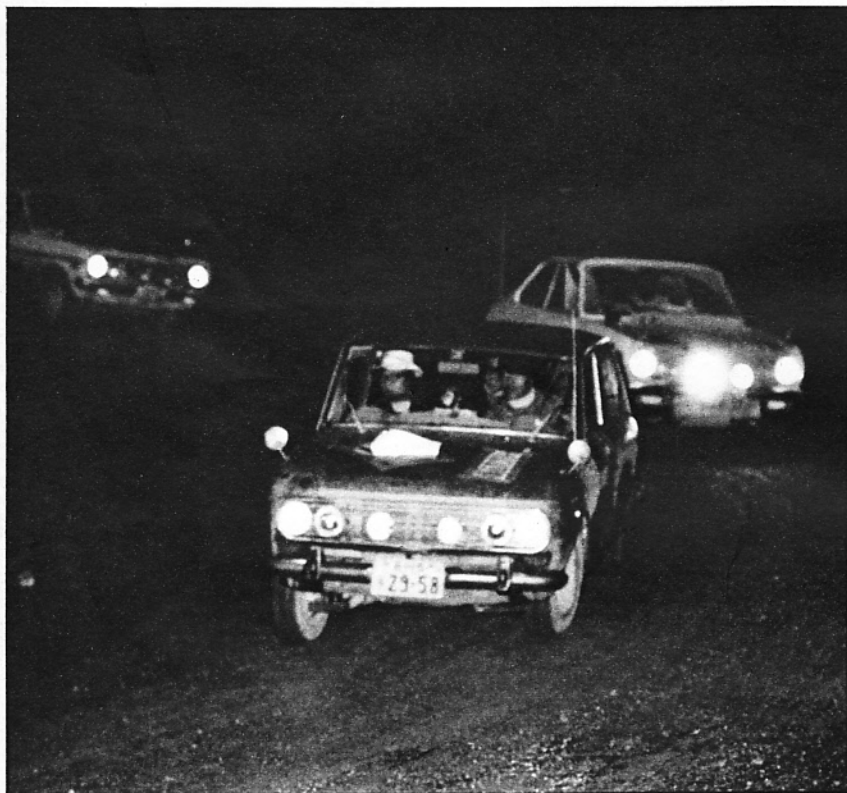
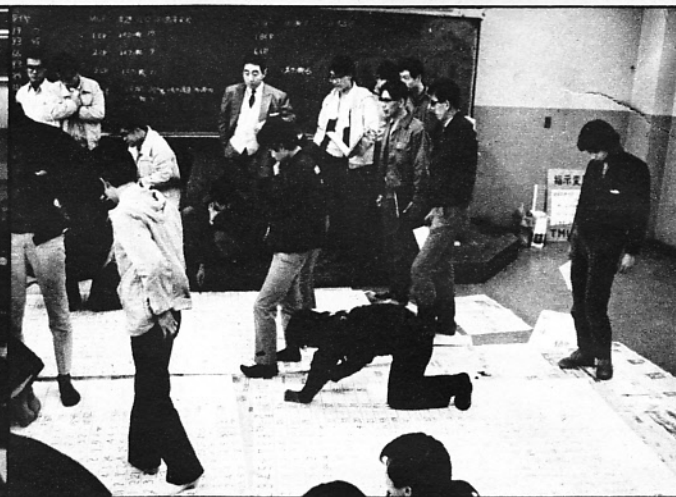
都立大をスタートしたラリー車は、中央高速道路に入り、MCPのある八王子へ向う。MCPを過ぎ城山湖を下った所でICP。ここから計算問題を解きながら2CPへ。計算はさすがに学生チームが強く、電通大が減点0で2CPを通過。愛川町、飯山、霧ヶ土山峠を指示速度三十三キロ/Hで上り3CP到着。雄鶴峠へ向う県道は前夜来の雨でドロコンコ



「私は頭でカバーするわ」



「これさえありゃ、もう大丈夫」



ースとなり各車が悪戦苦闘。8CPから最終CPの9CPま
 では一・二四キロのショートコースのため遅着車が続出し、
 この区間で減点を大きくしたチームが多かった。
 七日午前十一時から閉会式が行われ、賞品総額はカーステ
 レオ三台を含む百万円と豪華版。多数の特別賞もあって、な
 ごやかなうちに第五回都立ラリーはその幕を閉じた。



一般部門優勝のチームナゴシ



総合優勝の農工大桜チーム